



川井クリニックニュース

平成 19 年度第 2 号

平成 19 年 4 月 10 日

世

の中は 10 年単位ぐらいで変化していくようです。情報化時代の昨今は特にその変化は早くなっていますが、10 年ひと昔という言葉は今も当てはまるようです。当院が開業した頃は病診連携という言葉はまだなじみがうすく、医療機関における情報開示についても重視されていませんでした。糖尿病医療に関しては遺伝子操作により超速効型インスリン(ヒューマログ、ノボラピッド)や持効型インスリン(ランタス)が製品化され 1 型糖尿病の治療が容易になりました。2 型糖尿病については、ビッグアナイド薬(ジベトス)やチアゾリジン薬(アクトス)が広く使われるようになりましたが、当院はこれらの薬剤の有用性を報告することで先駆的な役割を果たしてきました。また、合併症予防の観点から HbA1c 値だけでなく、血圧やコレステロール値にも注意が払われるようになりました。このように自分が専門としていた分野でも徐々に変化があります。それにとり残されないためには、内科、糖尿病、内分泌学会等の学会や種々の学会研究会に顔を出し、意見を述べるのが大切です。そのため、時々診療を空けることがあります。長い目でみると大切なことなのでご容赦下さい。5 月下旬には糖尿病学会、6 月中旬には内分泌学会の学会集会有ります。



職員についても、10 年間の間に浦山医師が筑波大学に栄転したり、杉本師長や菅原師長が転居で当院を去りました。今回、薬剤師の和田さんが転居の為退職しますが、最近の薬剤師や看護師の不足は、医

師不足と合わせ深刻です。当院でも募集しましたが応募者がありません。調剤薬局や介護施設の普及により、雇用が創出されたことや、いずれの職種も女性が多いので、家庭に入り仕事に復帰しないためのようです。子育てが終わり、仕事に復帰しようとすると、10 年単位の変化、特に IT 化された医療がネックになるようです。皆様の知人に薬剤師や看護師がいらっしゃいましたら、当院を紹介して下さい。生活習慣病というこれからの医療を知るよい機会になると思います。

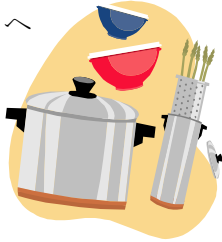
さて、これからの 10 年を見据えて、昨年 4 月に電子カルテシステムを導入しましたが、電子カルテシステムに職員が慣れるまで来院者の院内滞在時間が長くなった時期もありました。しかし、色々な工夫と慣れによりほぼ導入前の状態に戻ったようです。また、連休明けには採血、採尿検査にコンピューターシステムを導入し、診療の効率化を予定しています。来院後の動きに多少の変化があることが予想されますが、すぐ慣れると思います。一方、一般病床数の削減や介護病床の増加により院内での臨床検査が減ったためか、10 年前には不足していた臨床検査技師が今はやや就職難のようです。そこで、臨床検査技師が 4 月より 1 人増え、4 人となります。頰動脈の内膜・中膜肥厚度や動脈硬化度測定を希望される方は採血時に声をかけて下さい。以上、当院の最近の様子を書いてみました。



(院長 川井 紘一)

桐の木会

2月28日(水)に豊里公民館で調理実習を行いました。今回は『DASH食(高血圧を緩和する食事)』がテーマでした。メニューはさわらのかぶら蒸し、炊き合わせ、春キャベツのロールサラダ、菜の花のすまし汁とフルーツ寒天で玄米食にしました。おかずのみだと360kcal!!へルシーですが玄米やロールサラダは食べ応えがあり、お腹いっぱいになったようです。



今回からは新しいメンバーも加わり、楽しい会になりました。野菜や複合炭水化物を摂り、減塩を勧める“DASH食”。皆さんも挑戦してみてください。

次回の「桐の木」会は5月13日(日)に当院で総会を行います。前年度の活動・会計報告の他、今年度の計画を検討します。今回の講演は筑波大学代謝内科講師鈴木浩明先生を迎え、“筑波大学における糖尿病治療”についてお話をしていただきます。その後、近くの葛城公園まで散歩、糖尿病療養について語りながら昼食をとる予定です。

昨年度の情報発信

当院は「患者のニーズを医療者が共有する」、「情報開示」、「情報発信」を開院以降の理念として活動しています。「情報発信」というのは当院から医療の向上に向けて学会発表等をする事です。昨年度はCoDiC-MSというソフトの開発がありました。また、糖尿病関連の情報誌等に論文や取材という形式で10回以上の発表がありました。英語論文も含め発表論文は6編ありました。学会発表は職員によるものも含め15編ありました。その他院長が県外も含め約30回の講演を行っています。



以下は最近の研究会、学会での発表です

第19回いばらき医療福祉研究集会

2006年11月23日(祝)

『電子カルテ導入の準備と実際』

『長期血糖コントロール

不良患者と良好患者の比較』

第1報 患者臨床像の視点から

第2報 食習慣の視点から

第44回日本糖尿病学会関東甲信越地方会

2007年1月27日(土)

『ビグアノイド薬(ブホルミン)に

おける二次無効の実態調査』

『糖尿病患者管理データベース

CoDiC改良版(CoDiC-MS)の紹介』

新スタッフの紹介

4月2日より臨床検査技師：田勢直美が新たに加わりました。慣れるまでご迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞよろしくお祈りいたします。



休診と院長不在のお知らせ

大変勝手ではございますが、4月29(日)～5月6日(日)のGW期間中は1日(火)を臨時休診とさせて頂き、1週間の連休とさせて頂きます。前後の診療は混み合いますが、ご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

又、5月24日(木)は院長が日本糖尿病学会年次学術集会(仙台)での発表を予定しており、臨時休診とさせて頂きます。その代わりに、5月23日(水)は診療日となりますのでご了承下さい。